

一般社団法人日本有機資源協会 平成27年度事業報告書

当協会は平成12年8月に任意団体として発足して以来、平成14年3月の社団法人化、平成24年4月の一般社団法人化を経て現在まで、会員の皆様をはじめ国関係機関や地方公共団体、事業者の方々にご指導ご支援を得て、バイオマス産業都市構想等の策定、バイオマス関連の事業化、バイオマス製品等の普及、バイオマス活用を推進する人材の育成等を実施し、バイオマス活用の着実な促進を図るために、日々活動してきました。

さて、平成27年7月に出された2030年度のエネルギー需給構造の見通しとして、再生可能エネルギー22～24%のうち、バイオマスで3.7～4.6%程度を目標とされ、平成27年11月30日から12月11日まで、フランス・パリで、気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）、京都議定書第11回締約国会議（CMP11）では、日本の温室効果ガス削減目標は2013年度比で2030年に26%削減するということが確認されました。

また、バイオマス産業都市の選定地域も現在34地域となり、バイオマスの事業化に向けた動きが加速化し、各地で事業化の検討が進められてきているところです。

このような情勢の下、平成27年度の重点事業として、①バイオマス活用推進事業においては、バイオマス産業都市構想の策定、バイオマスの事業化に向けた調査や計画策定への支援等を実施、②人材育成事業においては、バイオマスの事業化を成功させるための各種研修を実施、③バイオマスマーク事業においては、バイオマスマーク商品の普及拡大に向けた取組を実施しました。

また、④技術調査事業においては、バイオマスに関する新規技術や新規事業等の情報収集を行うとともに、広く関係者による知見の習得や情報・意見の交換を行うテクノフォーラムを開催、⑤普及啓発事業においては、ホームページの充実を図るとともに、バイオマス活用に関する効果的な情報交換、有用な知見の習得等を行うバイオマスサロンの開催やバイオマスエキスポ等の展示会に出展し、普及啓発の充実を図りました。

さらに、補助事業・受託事業については、バイオマス関連の幅広い分野の事業について受注活動を展開した結果、国の補助事業として、地域バイオディーゼル流通システム技術実証事業、食品ロス削減等総合対策事業、地域バイオマス産業化支援事業（全国段階）、木質バイオマス加工・利用システム開発支援事業等を実施しました。

以上の事業を展開するにあたっては、当協会会員はもとより、国関係機関、地方公共団体、学識経験者、バイオマス活用アドバイザー、NPO法人、関係者等と連携を図るとともに、食品関係、流通関係、廃棄物関係、林業関係等の幅広い分野の方々との連携を図りました。

1. 会員の状況

平成27年度における期首及び期末の会員数は、次のとおりです。

会員区分	平成27年4月1日現在	平成28年3月31日現在	増減
名誉会員	1	1	0
正会員	79	84	5
個人	28	29	1
法人	33	36	3
団体	18	19	1
賛助会員	137	146	9
個人	125	134	9
法人	3	3	0
団体	9	9	0
合計	217	231	14

2. 会務の運営

総会及び役員会等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 総会 1回開催

平成27年

6月26日(金) 第4回定時総会
第78回バイオマスサロン・懇親会を併せて実施

[総会出席者]

正会員数83会員のうち73会員

(内訳) 本人出席：19会員、代理人出席：10会員、委任状出席：15会員、

書面議決(賛成)：29会員

[議案]

第1号議案 平成26年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 役員を選任について

第3号議案 一般社団法人日本有機資源協会会計処理規則の改正について

[報告事項]

- 1 公益目的支出計画の実施完了について
- 2 平成27年度事業計画及び収支予算について

(2) 理事会 3回開催

平成27年

6月10日(水) 第10回理事会

[議事]

- 1 平成26年度事業報告及び収支決算について
- 2 役員を選任について
- 3 一般社団法人日本有機資源協会の諸規定の改正について
- 4 第4回定時総会及び第11回理事会の開催について
- 5 その他

6月26日(金) 第11回理事会

[議事]

- 1 専務理事の選任について
- 2 入会審査担当理事について
- 3 その他

平成28年

3月23日(水) 第12回理事会

[議事]

- 1 平成27年度事業執行状況について
- 2 平成28年度事業計画及び収支予算について
- 3 諸規定等について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 その他

(3) 監事会(平成26年度事業監査) 1回開催

平成27年

6月1日(月) 第4回監事会

[議事]

1 平成26年度事業報告及び収支決算について

(4) 委員会

総務・企画委員会 3回開催

平成27年

6月 5日 (金) 平成27年度第1回総務・企画委員会 (平成27年度第1回運営戦略会議と合同開催)

10月 2日 (金) 平成27年度第2回総務・企画委員会 (平成27年度第2回運営戦略会議と合同開催)

平成28年

3月 9日 (水) 平成27年度第3回総務・企画委員会 (平成27年度第3回運営戦略会議と合同開催)

(5) 運営戦略会議 3回開催

平成27年

6月 5日 (金) 平成27年度第1回運営戦略会議 (平成27年度第1回総務・企画委員会と合同開催)

10月 2日 (金) 平成27年度第2回運営戦略会議 (平成27年度第2回総務・企画委員会と合同開催)

平成28年

3月 9日 (水) 平成27年度第3回運営戦略会議 (平成27年度第3回総務・企画委員会と合同開催)

3. 事業活動

(1) バイオマス活用推進事業

地方公共団体及びバイオマス活用に関する事業や研究等に関連する個人、企業、団体等からの要請、要望、相談等を受けて、その業務を合理的かつ円滑に執行するための支援を行っています。

また、バイオマス活用アドバイザーとの連携を図り、最新の施策情報や取組活動を情報共有する目的でバイオマス活用アドバイザーブロック連絡会を開催することとしていましたが、日程等の都合上、本年度は近畿地域のみでの開催となりました。

さらに、経済産業省資源エネルギー庁開催の「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 新エネルギー小委員会」にオブザーバーとして出席し、バイオマス発電に係るFIT制度について要望を伝えるとともに情報収集に努めました。

加えて、バイオマス関連施設の税制改正に伴う税率軽減措置等の要望を与野党の国会議員に対して説明等を行いました。

1) バイオマス活用推進活動の促進

全国206名のバイオマス活用アドバイザー等との連携により、市町村のバイオマス産業都市構想の策定、バイオマス関連調査等に対する支援を行いました。

[契約業務]

①長野県長野市

長野市バイオマス産業都市構想策定支援業務委託

②新潟県十日町市

十日町市バイオマス産業都市構想(案)策定支援業務委託

③福岡県篠栗町

篠栗町バイオマス産業都市構想策定支援業務委託

④栃木県大田原市

大田原市バイオマス活用推進計画策定業務委託

⑤農事組合法人細澤牧場

平成27年度地域循環型バイオガスシステム構築モデル事業における検討委員会資料及び報告書作成業務

⑥民間企業

平成27年度バイオマスプラスチックの実態把握と利用拡大に向けた事業者へのヒアリング等実態業務

⑦民間企業

北海道型養液栽培導入加速化事業業務委託

2) バイオマス活用アドバイザーブロック連絡会の実施

バイオマス活用アドバイザーのフォローアップを兼ねて、近畿地域でブロック連絡会を開催しました。また、バイオマス活用アドバイザーに対する支援・連携体制の充実強化を図り、必要に応じてバイオマス活用アドバイザーと一体となった活動を行いました。

平成28年

3月 4日(金) 平成27年度バイオマス活用アドバイザー近畿ブロック連絡会

3) バイオマス活用相談室の運営

バイオマス活用相談室を設置・運営し、資料提供、面談指導、実地指導、講演、委員の派遣等を実施しました(平成28年3月末までに、約192件の相談対応)。

(2) 人材育成事業

バイオマスの活用を的確かつ効率的に推進するうえで、専門的かつ幅広い知識を有し、地域で活動できる人材の養成が不可欠であることから、各種研修、講習会等を下記のとおり行いました。

1) バイオマス活用総合講座の実施

バイオマス活用に関する政策、法令、技術、事業運営等全般にわたる知識を修得し、地域におけるバイオマスの活用を推進する担い手の養成を目的としており、本講座の修了者には、バイオマスアドバイザー(初級)として認定し、コンポスト生産管理者養成研修の受講資格を付与しています。本年度は以下のとおり開催しました。

平成27年

8月 4日(火) 第14回バイオマス活用総合講座(7名)
～ 6日(木)

2) コンポスト生産管理者養成研修の実施

コンポスト化事業における技術管理あるいは生産施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を目的としており、本年度については、平成27年9月29日(火)～10月1日(木)の開催日程で受講者を募集しましたが、催行人数に達しなかったため、開催を中止しました。

3) バイオマス活用アドバイザー養成研修の実施

バイオマスの賦存量及び活用量の把握手法、製品やエネルギー等多様な変換・利用方法、農林水産業をはじめとする地域の様々な産業との連携等、多方面にわたる豊富な知見を有し、地域の実状を踏まえて関係者間の調整や事業化に向けた支援等により「現場を動かしていく」人材である「バイオマス活用アドバイザー」の養成を目的としており、本年度は以下のとおり集合研修の後、長野県飯山市と栃木県大田原市に協力いただき、現地研修を2カ所で開催しました。

平成27年

- 9月14日(月) 平成27年度バイオマス活用アドバイザー養成研修 集合研修(9名)
～17日(木)
- 11月10日(火) 平成27年度バイオマス活用アドバイザー養成研修 現地研修(飯山市)(4名)
～13日(金)
- 11月16日(月) 平成27年度バイオマス活用アドバイザー養成研修 現地研修(大田原市)(5名)
～19日(木)

4) メタン発酵技術アドバイザー養成研修の実施

バイオガス化・液肥製造事業における技術管理またはメタン発酵施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を目的としており、本年度は以下のとおり開催しました。

平成27年

- 10月 5日(月) 第5回メタン発酵技術アドバイザー養成研修(10名)
～ 7日(水)

5) バイオディーゼル燃料人材育成(基礎講座及び養成研修)の実施

バイオディーゼル燃料製造事業における技術管理または施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を目的としており、本年度は以下のとおり開催しました。

平成28年

- 3月17日(木) 第5回バイオディーゼル燃料基礎講座(5名)
～18日(金)

6) 国内視察研修の実施

全国のバイオマス活用優良事例等の視察を行う研修であり、本年度は、平成27年11月4日(水)～11月5日(木)の2日間の日程で、バイオマスを根幹としたクレジットや変換技術の実践的な知識を習得することを目的に、新潟県内における「J-クレジット」創出現場やバイオマス活用の現地視察研修の開催について参加者を募集しましたが、催行人数に達しなかったため、開催を中止しました。

※なお、本協会人材育成における以下の研修修了者に対し、平成28年1月7日付で、(一社)産業環境管理協会が運営する「エネルギー・環境マネジャー(旧カーボンマネジャー) キャリア段位制度」の評価対象講座等に以下のとおり認定されました。

- レベル4 バイオマス活用アドバイザー養成研修
- レベル3 バイオマス活用総合講座、コンポスト生産管理者養成研修、コンポスト生産管理者フォローアップ研修
- レベル2 メタン発酵技術アドバイザー養成研修、バイオディーゼル燃料製造管理者及び利用管理者養成研修
- レベル1 バイオディーゼル燃料基礎講座

(3) バイオマスマーク事業

優良なバイオマス活用製品等の生産・流通を促進し、バイオマス活用が円滑かつ適正に推進されるための市場の形成とその発展を期するために、バイオマス製品を評価し、優良なものを推奨することを目的としています。

バイオマス由来の商品に「バイオマスマーク」を付すことにより、供給者のバイオマスに対する意識高揚と消費者のバイオマス商品への認識と利用の促進を図り、これらの商品を普及することによりバイオマスの利用促進と持続的に発展可能な社会構築に貢献するためのものです。

バイオマスマーク対象分野の拡大、バイオマスマーク商品の良さを積極的にPRした結果、平成28年3月末時点のバイオマスマークの認定数は253点になりました。

1) バイオマスマークの運営・審査

2か月に1回バイオマスマーク審査を実施するとともに、運営委員会及び審査委員会を開催しました。
平成27年

5月26日(火) 平成27年度第1回バイオマスマーク審査

7月27日(月) 平成27年度第2回バイオマスマーク審査

9月28日(月) 平成27年度第3回バイオマスマーク審査

11月27日(金) 平成27年度第4回バイオマスマーク審査

平成28年

1月27日(水) 平成27年度第5回バイオマスマーク審査

3月24日(木) 平成27年度第1回運営・審査合同委員会

平成27年度第6回バイオマスマーク審査

2) バイオマス関連展示会等への出展及びバイオマスマーク商品ホームページの運営

バイオマスマーク商品の良さをPRするため、以下の展示会等に出展するとともに、バイオマスマーク商品のホームページを運営しました。

6月17日(水) バイオマスエキスポに出展
～19日(金)

11月18日(水) アグリビジネス創出フェアに出展
～20日(金)

12月10日(木) エコプロダクツ2015に出展
～12日(土)

(4) 技術調査事業

内外の技術的要請等に対応した課題を設定し、技術的観点から調査活動を行うものとし、バイオマス発電の現状及び課題等の取りまとめ等を行いました。

1) テクノフォーラムの開催

バイオマス活用推進のための実用的技術、課題、事業性等について検討し、事業化の可能性を追求することを目的として、広く関係者による知見の習得や情報・意見の交換を行いました。

平成27年

9月11日(金) 第30回テクノフォーラム(27名)

①Jークレジット制度を活用した林業・木質バイオマスの取組み

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

政策研究事業本部 東京本部 環境・エネルギー部 主席研究員 竹田 雅浩 氏

②新潟県カーボン・オフセット制度を活用した企業の環境貢献

新潟県 環境企画課 地球環境対策室 室長 米田 和広 氏

11月13日(金) 第31回テクノフォーラム

(特非)グリーンネットワーク 竹の100%活用ビジネスセミナーに後援

①竹粉活用のビジネス化

グリーンネットワーク理事長、東京大学大学院農学生命科学研究科研究員

(一社)日本有機資源協会 理事 佐野 孝志 氏

②発酵竹粉の農業への活用事例

山都町竹資源利活用協議会 副会長、熊本県立大学研究員 野口 慎吾 氏

③竹粉活用ビジネスによる地方再生

奈良先端科学技術大学院大学 客員准教授 光井 将宇 氏

(5) 普及啓発事業

バイオマスの有効利用に係る国及び地方公共団体の施策と連携し、ホームページやメールニュースで情報配信を行うこと等により、国民の各層各界にバイオマス活用推進のための普及啓発活動を行いました。

1) ホームページの運営

本協会活動の広報（協会案内、協会活動、入会案内、行事・イベント、公募情報等）、バイオマス活用アドバイザー等への相談受付、出版物案内、バイオマスマークの紹介、バイオマス関連情報の提供等、効果的なホームページの運営を行いました。

2) バイオマスエキスポ等の展示会等への協力

バイオマスエキスポ等の展示会等に出展するとともに、積極的に協力し、バイオマスの事業化の推進を図りました。

平成27年

- 5月26日（火） 2015NEW環境展に協賛
～29日（金）
- 6月17日（水） バイオマスエキスポ2015を共催
～19日（金）
- 10月21日（水） びわ湖環境ビジネスメッセ2015（第18回開催）に協賛
～23日（金）

3) バイオマスサロンの開催

会員をはじめ関係者が一堂に会して、バイオマス活用に関して効果的な情報交換、有用な知見の習得等を行うことを目的に、本年度は4回開催しました。

平成27年

- 5月29日（金） 第77回バイオマスサロン（112名）
 - ①自治体主導の地域エネルギーシステムについて
総務省地域力創造グループ 地域政策課長 猿渡 知之 氏
 - ②木質バイオマス利用の推進について
農林水産省林野庁 林政部 木材利用課長 吉田 誠 氏
 - ③有機ランキンサイクル（ORC）発電システムの紹介
三菱重工業(株) エネルギー・環境ドメイン 営業戦略総括部 分散電源事業推進室
ソリューション営業グループ マネージング・エキスパート 小森 豊明 氏
 - ④地域における小型バイオマス発電及び熱利用の取組
～かぶちゃんの里山応援エネルギープロジェクト～
かぶちゃん電力(株) 取締役電力事業部長 兼
(株)早稲田環境研究所 社外取締役 田野 純一郎 氏
- 6月26日（金） 第78回バイオマスサロン（115名）
 - ①下水道資源の利用推進に向けた取組
国土交通省水管理・国土保全局 下水道部下水道企画課
下水道国際・技術調整官 石井 宏幸 氏
 - ②地球温暖化について
環境省地球環境局 地球温暖化対策課 課長補佐 成瀬 新吾 氏
 - ③バイオマス・エネルギーを巡る最近の動向について
経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー一部
新エネルギー対策課 課長補佐 吉野 欣臣 氏
 - ④食品ロスの削減に向けて

農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長
石黒 裕規 氏

12月14日(月) 第79回バイオマスサロン(47名)

①バイオマス産業都市構築の推進について

農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課 課長補佐 久保 香代子 氏

平成28年

3月23日(水) 第80回バイオマスサロン(85名)

①廃棄物系バイオマス利活用の展望について

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課 課長補佐 元部 弥 氏

②下水道におけるバイオマス利用の推進に向けて

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課 下水道国際・技術調整官
石井 宏幸 氏

③再生可能エネルギーの導入拡大とバイオマス発電

経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー対策課長 松山 泰浩 氏

④地域のバイオマスを活用した産業化に向けて

農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課長 川野 豊 氏

4) バイオマス通信の発行

平成21年度から作成配布してきたバイオマス通信を継続し、本年度は1回発行しました。

5) メールニュースの配信

バイオマスに関するイベントや公募情報等のメール配信、及び定期的なメールニュースの配信を実施しました(平成28年3月末までに、計18回配信)。

6) エコプロダクツ大賞の実施協力

第12回エコプロダクツ大賞の農林水産省対象分の審査委員会等に参画し、各賞選考等を実施しました。

平成27年

10月 6日(火) 第12回エコプロダクツ大賞農林水産省対象分審査委員会

12月10日(木) 第12回エコプロダクツ大賞表彰式

(6) 国際交流事業

国内での本会活動の拡充にとどまることなく、地球規模での環境保全活動への参画も視野に入れて、海外先進国の関係団体等との連携協調、新興国への技術支援、国際的情報交換、人的交流などの推進を目的とし、本年度は、以下の国際交流関係事業を実施しました。

○海外からの視察受入や問い合わせへの対応、国際的な取組を行っている国内各団体等への支援・連携を引き続き行い、国内外におけるネットワークの拡充を図りました。

○バイオマス関連の2015コンポスト国際会議(北京、10月)に協賛し、参加する等、可能な限りの連携を図りました。

平成27年

7月28日(火) 大韓民国 慶尚大学校 視察受入れ

10月22日(木) 2015コンポスト国際会議 in 北京に協賛・参加
～26日(月)

(7) 出版事業

「バイオマス活用ハンドブック～バイオマス事業化成功のために～」を販売するとともに、技術調査事業における技術委員会の各専門委員会作成の調査報告書・マニュアル等を販売しました。

(8) 補助・受託事業

1) 補助事業

①平成26年度地域バイオディーゼル流通システム技術実証事業

(経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課)

バイオディーゼルの一体的・先進的な流通システムの技術課題に取り組む地域の主体を支援し、バイオディーゼルの供給・生産・流通・生産量の促進及び安定化を図るため、自治体、企業等が実証事業を行う者（間接補助事業者）に対して、補助金を交付する事業を実施しており、平成26年度繰越分の事業を実施しました。

②平成27年度地域バイオディーゼル流通システム技術実証事業

(経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課)

バイオディーゼルの一体的・先進的な流通システムの技術課題に取り組む地域の主体を支援し、バイオディーゼルの供給・生産・流通・生産量の促進及び安定化を図るため、自治体、企業等が実証事業を行う者（間接補助事業者）に対して、補助金を交付する事業を実施しました。本年度は、以下のとおり継続事業者10者、新規事業者4者を採択し、事業を実施しました。

事業者	地域	内容
(株)エコ ERC 及び NPO 法人十勝エネルギーネットワーク	北海道 十勝地域	十勝圏におけるバイオディーゼルの流通システム構築
(株)どりーむ	北海道 石狩地域	石狩管内におけるバイオディーゼルの拡大を目指す
牛久市役所	茨城県牛久市近隣	バイオマス産業都市牛久のBDF流通システム拡大実証事業
(株)伊丹自動車	新潟県 中越地域	一般流通を含めたバイオディーゼルの利用拡大
(株)寿バイオ	長野県 中信地域	信州中信地域におけるバイオディーゼルの流通システム構築
(株)丸三商事	東海地域	バイオディーゼルの簡易給油タンク設置による燃料流通の効率化
(株)レポインターナショナル及び南丹市	京都府	京都府北部における地域流通網の整備を図る
(株)手束商事	京阪地域	製造量拡大及び品質向上による、BDFの更なる普及と安定的使用の推進
浜田化学(株)	兵庫県他	新工法の酵素触媒法によるB5燃料の生産安定化及び利用促進整備モデルの実証事業
西田商運(株)	九州地域	食品廃棄物（ラーメンスープ残さ）のバイオディーゼル利用
【以上10者は平成26年度継続事業者、以下4者は平成27年度新規採択事業者】		
KBEサービス(株)	北関東他	地元自治体と連携した普及拡大
南武建設(株)	千葉県域	首都圏におけるBDF及びB5燃料の普及拡大
(株)ダイセキ環境ソリューション	東海地区	B5軽油の流通強化による普及拡大
自然と未来(株)、東光石油(株)及び双葉ロジスティクス(株)	熊本地域	熊本県域におけるバイオディーゼルの普及拡大

平成27年

- 6月29日(月) 第1回審査評価委員会
- 8月26日(水) 第2回審査評価委員会
- 12月7日(月) 現地調査(名古屋)
- 12月8日(火) 第3回審査評価委員会

平成28年

- 1月26日(火) 第4回審査評価委員会
- 3月16日(水) 事業者成果報告会
- 3月17日(木) 第5回審査評価委員会

③平成27年度食品ロス削減等総合対策事業のうち食品産業の地球温暖化・省エネルギー対策促進事業 (農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課食品産業環境対策室)

低炭素社会づくりの推進に向けた地球温暖化の国内対策等を踏まえ、東日本大震災を契機に見直されている国民の「もったいない」意識をフードチェーンの改善に繋げ、中小企業にも取り組みやすい食品関連事業者等による地球温暖化・省エネルギー対策の普及、促進及び評価を行うことを目的として、以下の業務を実施しました。

- これからの省エネルギーをどうするかヒントや気づきを得ていただくことを目的に、食品産業に関わる省エネルギー対策の考え方や進め方、昨年度作成した「食品産業分野における温暖化対策の手引き」のチェックリストの活用や優秀な取組事例を紹介する研修会を全国4地域で開催しました。
- 優れた取組を表彰することにより、企業等の取組を盛り上げるとともに、普及拡大を図ることを目的に、「第3回食品産業もったいない大賞」の選賞を行い、表彰式を開催するとともに、広報を実施しました。

平成27年

- 7月3日(金) 第1回検討会
- 9月9日(水) 第2回検討会
- 10月16日(金) 研修会(高松市)
- 10月22日(木) 研修会(東京都)
- 10月28日(水) 研修会(大阪市)
- 10月29日(木) 研修会(福岡市)
- 11月27日(木) 第3回検討会
- 12月3日(木) 第4回検討会

平成28年

- 1月29日(金) 第3回食品産業もったいない大賞 表彰式
- 3月17日(木) 第5回検討会

④平成27年度木質バイオマス加工・利用システム開発支援事業 (農林水産省林野庁林政部木材利用課)

地域資源の一つである林地残材等が年間約2,000万³m発生するとともに、森林資源が年々増加する中で、木質バイオマスを活用した産業化の取組により、森林整備や山村地域の活性化等を図ることが重要であり、「森林・林業基本計画」に基づいた木質バイオマスの利用拡大に向けて、効率的な加工・利用システムのための新たな技術開発等が必要であることから、林野庁が採択した木質バイオマス加工・利用システム開発事業の事業者に対して、当協会及び一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会の共同実施により、以下の取組を行いました。

- 木質バイオマス加工・利用システム開発事業を実施する事業者の求めに応じ、技術面、安全面、関係法令の遵守等に係る助言・現地指導を行いました。助言については、学識経験者等からなる検討委員会を設置し、開催しました。

○事業の成果を取りまとめ、成果報告会等を通じ、広く普及・PRを行いました。

平成27年

7月28日(火) 第1回検討委員会

12月21日(木) 第2回検討委員会

平成28年

2月18日(木) 第3回検討委員会

3月8日(火) 成果報告会

⑤平成27年度地域バイオマス産業化支援事業(全国段階)

(農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課バイオマス事業推進室)

バイオマス関係7府省が共同で取りまとめた「バイオマス事業化戦略」(平成24年9月6日バイオマス活用推進会議決定)において、地域のバイオマスを活用した産業化等を推進することとされたのに基づき、バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指すバイオマス産業都市の構築を推進するものであり、以下の内容を実施しました。

i) 事業可能性調査

バイオマス産業都市の実現可能性の高い地域を把握するための調査を行うとともに、地域バイオマス産業化整備事業の実現性の確認に必要となる資料収集、現地調査を実施しました。

ii) 経理管理指導等

地域バイオマス産業化整備事業の事業実施主体やバイオマス事業化を目指す事業実施主体を対象に「バイオマス事業化に関するQ&A」を作成しました。

iii) 連絡協議会の運営

バイオマス産業都市間のネットワーク化のため、選定されたバイオマス産業都市と7府省等で構成される連絡協議会を設置し、全国事務局としてその運営を行いました。

iv) シンポジウムの開催等

バイオマス産業都市の構築を推進するため、シンポジウム開催、表彰事業の実施、及び関連データの整理を行いました。

v) バイオマス産業都市認定地域のフォローアップ

バイオマス産業都市の取組を実現化していく際に得られたノウハウを幅広く紹介していくために、事業実施に伴う事業効果等の分析を含む汎用的な事例紹介様式の作成を行い、整備事業を実施した地域における事例を3例モデル的に取りまとめを行いました。

平成27年

9月11日(金) 第1回推進委員会

11月16日(月) バイオマス産業都市連絡協議会 情報交換会

11月30日(月) 第2回推進委員会

平成28年

2月2日(火) バイオマス産業都市推進シンポジウム

2月3日(水) バイオマス産業都市連絡協議会(第3回)

2月12日(金) 第3回推進委員会

3月7日(月) 第4回推進委員会

3月15日(火) ジャパンレジリエンスアワード2016 表彰式(協賛団体賞 バイオマス大賞)

2) 委託事業

①全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会関係

平成19年3月19日に、バイオディーゼル燃料の円滑な普及拡大を目的として設立された協議会であり、更なる利用推進のための活動を図るために事務局の運営を行いました。

平成27年

- 5月13日(水) 第22回幹事会
- 5月21日(木) 平成26年度事業監査
～22日(金)
- 5月15日(金) 平成27年度第1回技術指針委員会(文書審議)
- 6月9日(火) 第10回総会、事例発表会、交流会
- 6月29日(火) 第23回幹事会(文書審議)
- 7月30日(木) 第24回幹事会
- 8月27日(金) 平成27年度第1回企画実行委員会
- 10月8日(木) 平成27年度第2回企画実行委員会
- 12月16日(水) B5セミナー
- 12月24日(木) 平成27年度第2回技術指針委員会

平成28年

- 3月8日(火) 平成27年度第3回技術指針委員会

②リン資源リサイクル推進協議会関係

平成20年12月18日に、未利用リン資源からのリン回収、再利用等を推進することを目的として設立された協議会であり、更なる回収、再利用の推進のための活動を図るために事務局の運営を行いました。

平成27年

- 5月13日(水) 平成27年度第1回企画委員会
- 5月14日(木) 平成26年度事業監査
- 5月25日(月) 中国リン複合肥料工業協会との意見交換
- 5月26日(火) 第20回幹事会
第15回リン資源の確保および管理に関する産官学戦略会議・交流会

- 5月27日(水) 中国リン複合肥料工業協会 視察受入対応
～29日(金)
- 6月20日(水) 平成27年度第2回企画委員会
- 7月10日(金) 第8回総会、平成27年度リン資源リサイクル功績者表彰
第13回リン資源リサイクルシンポジウム、意見交換・交流会
- 7月21日(火) 平成27年度第3回企画委員会
- 8月21日(金) 平成27年度第4回企画委員会
- 8月29日(土) 第9回リン資源リサイクル事例視察(中国)
- ～9月4日(金)
- 9月17日(木) 第21回幹事会
第16回リン資源の確保および管理に関する産官学戦略会議

- 11月12日(木) 第10回リン資源リサイクル事例視察(九州)
～13日(金)
- 11月17日(火) 中国建築材料連合会 石膏建材分会 視察受入対応
- 11月26日(木) 第2回持続的リン利用シンポジウム
(早稲田大学 総合研究機構 リンアトラス研究所と共催)

平成28年

- 1月14日(木) 平成27年度第5回企画委員会
- 1月21日(木) 第17回リン資源の確保および管理に関する産官学戦略会議

3月11日（金） 第22回幹事会

第18回リン資源の確保および管理に関する産官学戦略会議

③日本バイオマス製品推進協議会関係

平成19年2月21日に、バイオマス製品の利用拡大を促進することを目的として設立された協議会であり、更なる利用拡大推進のために事務局の運営を行いました。

平成27年

4月20日（月） 平成27年度第1回幹事会

6月23日（火） 平成27年総会、講演会、交換会

9月10日（木） 平成27年度第2回幹事会

11月12日（木） 平成27年表彰式、講演会、交換会

平成28年

2月17日（水） 平成27年度第3回幹事会

3月 7日（月） 平成27年度第1回市場規模調査委員会

④バイオマス資源総合利用推進協議会関係

平成25年4月16日に、バイオマス資源の活用を加速化し、バイオマスを基調とした社会の実現と地球環境保全の推進を図ることを目的として設立された協議会であり、これらの目的実現のために事務局の運営を行いました。

平成27年

7月 6日（月） 第3回事業監査

7月15日（水） 第3回定時総会

9月15日（火） バイオマス利活用施設の調査（視察）

以上